

MEIJI  
GAKUIN  
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2018年10月26日

明治学院大学文学部芸術学科・言語文化研究所主催  
**シンポジウム「川島雄三は二度生まれる」**  
11月10日(土)開催 ※入場無料・事前申込み不要

今年、「稀才、奇才、鬼才」と謳われた映画監督・川島雄三の生誕100年に当たり、さまざまなイベントが開催されており、川島雄三に関する書籍も出版される予定です。

本シンポジウムでは、水声社から出版予定の川崎公平・北村匡平・志村三代子編『川島雄三は二度生まれる』の編者と数人の執筆者が集まり、川島雄三映画の魅力と現代性について存分に語りあいます。

ぜひ、シンポジウムの告知および取材をご検討いただきたく、お願い申し上げます。

明治学院大学文学部芸術学科・言語文化研究所主催 シンポジウム「川島雄三は二度生まれる」

【日程】2018年11月10日(土)

【開場】10:30 【開会】11:00 (17:30 閉会予定)

【場所】明治学院大学 白金キャンパス2号館2202教室(東京都港区白金台1-2-37)

【申込み】事前予約不要・入場無料 【定員】約100名

【タイムテーブル】10:30~11:00 受付

11:00~11:30 齊藤綾子(本学文学部教授) 前説「川島雄三の魅力」

11:45~12:15 上野昂志(映画評論家)「川島雄三の女たち、あるいは川島雄三と井上靖」

12:15~12:45 志村三代子(都留文科大学)「疾走／喧嘩する「三十娘」—川島映画のなかの淡島千景をめぐって」

12:45~14:00 ランチブレイク

14:00~14:30 ク・ミナ(本学言語文化研究所外国人研究員)「思想からの積極的逃避—川島雄三と風俗映画」

14:30~15:00 川崎公平(日本女子大学)「負債と媒介—川島雄三監督作品における未来のイメージ」

15:00~15:30 北村匡平(東京工業大学)「壊乱するスクリーン—川島のフレームとフランキー塚の狂騒」

15:30~16:00 渡邊大輔(跡見学園女子大学)「川島雄三と交錯する戦後日本のメディア状況」

16:00~16:20 休憩

16:20~17:30 ラウンドテーブル「時代がやっと川島雄三に追いついた！」

【主催】明治学院大学文学部芸術学科/言語文化研究所

【お問合せ】文学部芸術学科共同研究室 Tel:03-5421-5380 <http://www.meijigakuin.ac.jp/~art/>

取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当:圓道・濱口

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <https://www.meijigakuin.ac.jp>